

# RV130 および RV130W の帯域幅管理

## 目標

帯域幅はある特定の時間の単位上のネットワークを渡って転送することができるデータの量です。帯域幅管理はネットワークサービスに優先順位をつけ、比率制御を修正するサービス品質（QoS）機能です。帯域幅管理設定はネットワークリンクのデータ転送のコントロールトラフィック、通信および比率にネットワークパフォーマンスを高めることを可能にします。

この資料の目標は RV130 および RV130W の帯域幅管理設定を行う方法を示すことです。

## 適当なデバイス

- RV130
- RV130W

## 帯域幅管理

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは QoS > 帯域幅管理選択し。帯域幅管理 ページは開きます:

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G		

  

Bandwidth Priority Table									
<input type="checkbox"/> Enable	Direction	Category	Services	VLAN/SSID	IP Address	Subnet Mask	Priority	Remarking	DSCP
<input type="checkbox"/> No data to display									

Add Row Edit Delete Service Management

Save Cancel

呼び出します。 セットアップセクションの下の帯域幅管理 フィールドでは、デバイスが LAN からの WAN にトラフィック フローの帯域幅を管理するように Enable チェックボックスをチェックして下さい。

### Bandwidth Management

**Setup**

Bandwidth Management:  Enable

---

**Bandwidth**

The Maximum Bandwidth provided by ISP

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G		

注: 帯域幅表はデバイスがデータを送信し、受け取る比率を修正できる利用可能な WAN インターフェイスを示したものです。

ステップ 3 アップストリーム ( Kbit/Sec ) カラムでは、ルータがリストされている利用可能なインターフェイスのそれぞれのデータを送信する比率を入力して下さい。

### Bandwidth Management

**Setup**

Bandwidth Management:  Enable

---

**Bandwidth**

The Maximum Bandwidth provided by ISP

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G		

ステップ 4 ダウンストリーム ( Kbit/Sec ) カラムでは、ルータがリストされている利用可能なインターフェイスのそれぞれのデータを受け取る比率を入力して下さい。

### Bandwidth Management

**Setup**

Bandwidth Management:  Enable

---

**Bandwidth**

The Maximum Bandwidth provided by ISP

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G		

ステップ 5.変更を保存するために『SAVE』をクリックして下さい。

## サービス優先順位を追加して下さい

帯域幅 優先順位 表が帯域幅の利用を管理するためにサービスに特定の優先順位を割り当てるのに使用されています。

ステップ 1.帯域幅 優先順位 表の新しいサービス優先順位を追加するために『Add Row』をクリックして下さい。

Bandwidth Table									
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)							
Ethernet	10240	40960							
3G									

  

Bandwidth Priority Table									
<input type="checkbox"/> Enable	Direction	Category	Services	VLAN/SSID	IP Address	Subnet Mask	Priority	Remarking	DSCP
<input type="checkbox"/> No data to display									
<input checked="" type="button" value="Add Row"/> <input type="button" value="Edit"/> <input type="button" value="Delete"/> <input type="button" value="Service Management"/>									

Save Cancel

呼び出します。サービスのための帯域幅管理を有効にするために Enable チェックボックスをチェックして下さい。

ステップ 3 方向ドロップダウン リストから、サービスがデータ 発信を送信するか、または受信データを受け取るかどうか選択して下さい。

Bandwidth Table	
Interface	Upstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240
3G	

You must save before you can edit or delete.

Bandwidth Priority Table			
<input type="checkbox"/>	Enable	Direction	Category
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Outbound	Service

ステップ 4 カテゴリドロップダウン リストから、帯域幅 優先順位を設定 するために望むものをののための選択して下さい。

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G		

You must save before you can edit or delete.

<input type="checkbox"/>	Enable	Direction	Category	Services	VLAN/SSID
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Outbound	Service	All Traffic [All]	vlan1

利用可能な オプションは次の通り定義されます:

- サービス— FTP ) の特定の種類のための帯域幅 優先順位をトラフィック ( すなわち HTTP、DNS 設定 するのに使用しました。
- VLAN/SSID —仕様 VLAN/SSID のすべてのトラフィックのための帯域幅 優先順位を設定 するのに使用しました。 このオプションはこのオプションを選択する場合ステップ 6 にステップ 3.の方向に発信をスキップすれば選択する場合その時だけ利用できます。
- 出典は ip —特定のソース IP アドレスのすべてのトラフィックのための帯域幅 優先順位を設定 するのが常でありました。 このオプションはこのオプションを選択する場合ステップ 7 にステップ 3.の方向に受信をスキップすれば選択する場合その時だけ利用できます。
- 宛先IP —特定の宛先 IP アドレスのすべてのトラフィックのための帯域幅 優先順位を設定 するのに使用しました。 このオプションはこのオプションを選択する場合ステップ 7 にステップ 3.の方向に発信をスキップすれば選択する場合その時だけ利用できます。

ステップ 5 ステップ 4 のサービスを選択した場合、サービス ドロップダウン リストから優先順位をつけるためにサービスを選択して下さい。終了したら、ステップ 8.にスキップして下さい。

ステップ 6 ステップ 4 の VLAN/SSID を選択する場合、VLAN/SSID ドロップダウン リストからの優先順位を設定し、ステップ 8.にスキップすることを望む SSID が VLAN を選択して下さい。コピーしない場合は、このステップを省略してください。

ステップ 7 ステップ 4 の IP が宛先 IP を『Source』を選択する場合、それぞれ IP アドレスおよびサブネット マスクフィールドにの優先順位を設定することを望むアドレスの IP アドレスおよびサブネット マスクを入力して下さい。コピーしない場合は、このステップを省略してください。

ステップ 8 優先順位 ドロップダウン リストから、特定のサービスが IP に割り当てられることを望む帯域幅 優先順位のレベルを選択して下さい。高優先順位サービスがアドレスにより多くの帯域幅を割り当てます。

ステップ 9：ステップ 3 の発信を選択した場合、Differentiated Services Code Point (DSCP) でマークし直すことを有効にするためにマークし直すフィールドのチェックボックスをチェックして下さい。他ではステップ 11.有効になるマークし直すことに置きますデバイスの DSCP キュー マッピングに基づいて LAN を渡るネットワークトラフィックに優先順位をスキップして下さい。詳細については、[RV130 および RV130W の DSCP 設定](#)を参照して下さい。

ステップ 10：ステップ 9 でマークし直すことを有効にすることを選択した場合 DSCP フィールドでパケットのマークし直す値を入力して下さい。コピーしない場合は、このステップを省略してください。

ステップ 11.変更を保存するために『SAVE』をクリックして下さい。